であい
ふれあい
まなびあい

水谷公民館からのお知らせ TEL049-251-1129

学　ぶ　「はじめてのスマホ教室」

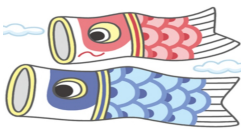
参加費 無料

初心者の方のためのスマホ講座です。
体験（デモ）機を使用した講座となりますので、スマホをお持ちでない方も、お気軽にご参加いただけます。

とき／①６月８日（水）
　　②６月２２日（水）
時間／①・②とも、午後1時30分～3時30分
講師／スマホアドバイザー（SoftBankより派遣）
内容／①初めてのスマホ体験
　　②スマホの基本とLINE体験
定員／①・②それぞれ１０名
応募期間／①・②とも、５月２５日（水）～３１日（火）
応募方法／水谷公民館の窓口または電話で応募してください。
当選者発表日／６月１日（水）
※当選者の方に、水谷公民館からお電話でご連絡いたします。

お知らせ　ロビー　ｄｅ　展示

５月にちなんだ絵手紙と俳句を公民館のロビーに展示しています。
今回の展示は、絵手紙サークル「ぺんぱる」と俳句サークル「点」のコラボ展示となっています。
ぜひご覧になってください。



子育て・交流　子育てサロン　親子フレンドパーク

参加費 無料

◎自由に親子で遊べます。　◎参加者との交流や情報交換ができます。
◎子育ての相談ができます。　◎スタッフによる紙芝居があります。

とき／６月１日（水）午前10時30分～正午
会場／児童室
定員／５組（申込順）
申込／前週水曜日の午前9時から前日の午後5時まで
　　直接または電話にて受け付けます。

子育て・交流　子育てサロン　お母さんのステップアップ講座（保育付き）

参加費 無料

子育てに役立つ！アンガーマネジメント講座

子育てのリフレッシュにいかがですか？
心の負担を減らして、子育てを楽しく！
◇アンガーマネジメントとは
…怒りの感情と付き合うための心理トレーニングのこと
とき／６月１５日（水）午前10時～午前11時30分
講師／宮田久美子氏（日本アンガーマネジメント協会）
　　（市民人材バンク　登録）
定員／１０名（申込順）
持ち物／お子様の着替え・おむつ・白湯（ミルク不可）
申込／６月１日(水)午前9時～６月１０日(金)午後5時

サロン・交流　－おひとりさまサロン－（ひとり暮らしの高齢者対象）　百（もも）の会

参加費 無料

ひとり暮らしでお困りのこと、悩んでいることはありませんか。
お一人暮らしの高齢者の方たちが悩みを話したりする交流の場です。

とき／６月１３日（月）午後1時30分～
※初めての方は、６月１０日（金）午後5時まで水谷公民館に直接または電話にてお願いします。
講師／健康増進センター職員
内容／あなたの知りたい健康づくり講座
　　あなたもなろう「健康長寿サポーター」

公民館の利用について　－

【令和４年９月分の予約の流れ】

内　容	日にち
①抽選申込期間	６月15日（水）～30日（木）
②コンピューターによる自動抽選	７月１日（金）
③抽選結果の確認	７月１日（金）～４日（月）
④窓口受付開始日	７月５日（火）
⑤インターネット仮予約受付開始日	７月６日（水）

※ 休館日　令和４年６月２０日（月）　（第３月曜日）

水谷地区の人口（令和４年３月３１日現在）
水谷地域の人口　33,775人（+152）　世帯数 16,886（+132）
（　）内の数字は前月比

お願い　駐車場のご利用にあたって

駐車スペースが不足しています。公民館・出張所をご利用される際は、お車での来館をお控えいただくか、乗り合いでの来館にご協力をお願いします。

こんにちは　コーナー

公民館へ行く私

水谷公民館へ行く機会が近頃とても多くなった。近所の人に誘われて健康麻雀のサークルに参加することにしたのだ。
昔は「麻雀」というと男性ばかりで、たばこの煙の中で楽しんでいるイメージだったが、「健康麻雀」はお金をかけない、ボケ防止の一つとしてあくまで頭のトレーニングの要素が強い。そのせいか女性の割合も多い。
ふと思うのは、子どものころと違って、大人になると仕事や近所付き合い以外は人と関わることがほとんどなくなってきている。公民館のサークルに入ることでまた新たに知り合いや友達ができる機会を得られるようになった。またその知り合いも年齢や性別は関係なく、仕事のしがらみもなく分け隔てなくお付き合いできる機会があることは、この年齢になってからは貴重なことだとあらためて思い始めた。特にコロナ禍の中、公民館で定期的に人と会い、話す機会があることはよいことあらためて思える今日この頃だ。

水谷第２町会
高橋　輝男

編集後記

私の故郷に「弘法大師戻りの石」というのがあります。弘法大師が石に腰掛けて休んでいた時、子どもが鎌を持って通りかかったので「何をするのだ」と聞いたところ、「冬穂きて夏枯れ草を刈りに行く」と答えたという。これを聞いた弘法大師は、この辺りでは私のすることがないと言って戻って行きました。
どこにでもあるような弘法伝説ですが、私は子どもの頃、この伝説で麦の収穫の時期を知りました。
そして、二毛作についても学習しました。農業振興課の職員の方に伺ったところ、富士見市では稲と小麦の二毛作は行われていないということです。
今、穀倉地帯のウクライナで起きていることは全世界のあらゆることに影響を及ぼしています。
尊い命が失われないよう、「非核平和宣言都市」の一市民として一日も早い戦争終結を願うものです。

佐々木編集委員